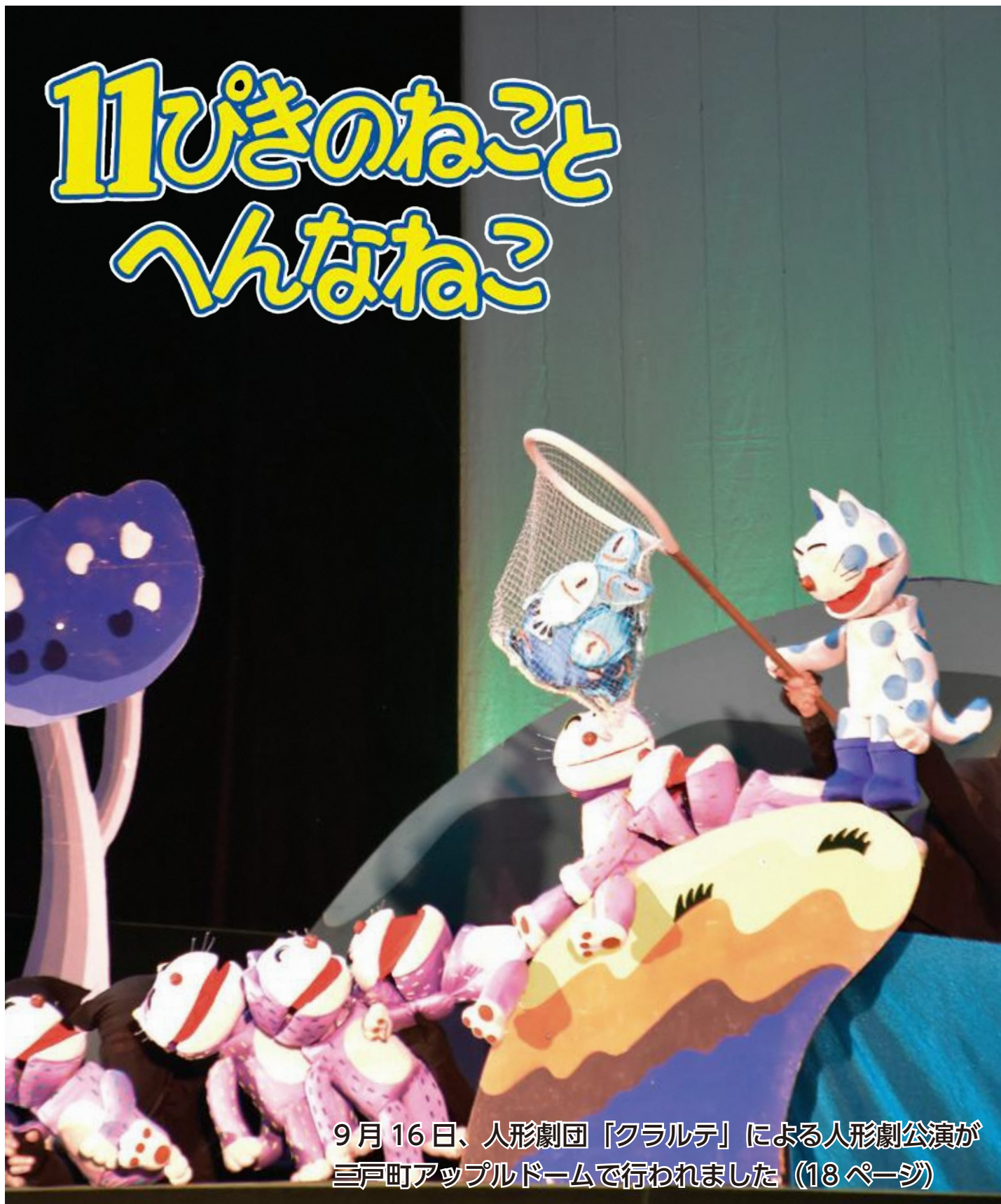


広報 さんのへ みんなでちからをあわせる11ひきのねこのまち

SANNOHE

2023
10
No.746

11ひきのねこと へんなねこ



9月16日、人形劇団「クラルテ」による人形劇公演が
三戸町アップルドームで行われました (18 ページ)

チャレンジ 三高生！

1 学年「総合的な探究の時間」発表会

SDGs 課題「持続可能なまちづくり」

9月5日、1 学年 32 人は、役場住民福祉課職員を招き「総合的な探究の時間」発表会を行いました。この発表会は、三戸高校が設定した SDGs 課題「持続可能なまちづくり」のもと「町の魅力化・魅力発信」「ごみを減らすには？」の 2 つのテーマについて探究することを通して、

- ・ 生徒が主体的に課題解決の方法について調査、情報収集、考察する力を身につける
- ・ 解決を目指す活動を通して、探究の過程を理解し、問題解決能力を身につける
- ・ 課題解決に向けて収集した資料を適切に活用し、成果を発表する

ことを目的として実施されました。発表後、生徒たちは「ゴミ処理費用が減っても、リサイクル費用がかかってしまうことがわかりました。極力ゴミを出さないように意識したい」などの感想を述べていました。

発表テーマ（8 班）

- 1 班：古着問題と古着回収
- 2 班：リサイクルの啓発
- 3 班：生ゴミ削減とコンポスト
- 4 班：古着回収をやってみて
- 5 班：三戸の食材をレシピ付きで発信
- 6 班：三戸の魅力を SNS 発信！
- 7 班：11 ぴきのねことふるさと納税
- 8 班：三戸の四季のイベント発信



今月のピックアップは

うちじょう ひろこ 内城 寛子 さん

富士大学経済学部准教授、スポーツ振興アカデミー長

三戸町出身の内城寛子さん（46）は、岩手大学大学院を修了し、相談員やスポーツ関係の職を経て、現在は富士大学（岩手県花巻市）の経済学部准教授およびスポーツ振興アカデミー長の役職に就いている。また、トップチームや国際大会レベルの選手に対してコーチングを行う「日本スポーツ協会認定コーチ 4（テニス）」と選手の心理面をサポートする「日本スポーツ心理学会認定メンタルトレーニング指導士」の資格を取得し、ジュニア選手育成に携わっている。



— 現職に就こうと思ったきっかけは何ですか？

幼少期にスケートに出会ってスポーツが好きになりました。家族も熱心にサポートをしてくれて、スポーツが生活の中心でした。三中時代にテニスに出会い、その後も素晴らしい仲間や指導者のおかげで今の私があります。教育研究職に就いた現在は、学生たちとスポーツについて語り合う日々がとても幸せです。

— 今後の目標はありますか？

先日、教え子のサッカー選手たちが大学日本一になりました。毎日努力している姿を見ていたので感無量でした。地方のチームでも活躍できる証明になったと思います。このようなスポーツの尊さを多くの人に伝えるとともに、これからも元気にテニスコートに立って子どもたちに指導していきたいです。



Vol.9 /
わがまち

PICK UP!!

10月は「食品ロス削減月間」「3R推進月間」です！

●食品ロス・生ごみを学んで減らそう！

「食品ロス」とは、食べられるのに捨てられてしまう食品のことです。青森県では毎日、1人あたりご飯茶碗一杯分以上の食品ロスが発生しています。食品ロスの主な発生原因は、家庭や外食での「食べ残し」や、小売店での「期限切れ」です。ぜひ、食品ロス削減に取り組みましょう！

削減行動のポイント

食品ロス・生ごみを減らすには…

●てまえどり

買い物のとき、すぐに食べるなら陳列棚の手前のものを選びましょう。

「てまえどり!キャンペーン」(10/1～10/31)

対象店舗の「てまえどりキャンペーンシール」を集めて、青森県産米「はれわたari」を当てちやおう！詳細は、対象店舗で応募チラシをチェック！

●3つの「きる」を実践しましょう。

- ・食材は使い「きる」
- ・料理は食べ「きる」
- ・生ごみは水気を「きる」

生ごみ(1人あたりの1日分) 約500g



しっかり水切りをする(50g減)
※生ごみの70～80%は水分

●3010(さんまるいちまる)運動

会食などでは、最初の30分と最後の10分は、自分の席で料理を食べる時間を設けましょう。

●3Rを学んで限りある資源を未来へつなごう！

「3R」は、ごみを限りなく減らすことでごみの焼却や埋立処理による環境への負担をできるだけ少なくし、さらに、限りある地球の資源の使用を減らすために、資源を有効的に繰り返し使う社会「循環型社会」を実現するために、重要なキーワードです。



リデュース

→ごみの発生、資源の消費をもとから減らすこと



リユース

→くり返し使うこと



リサイクル

→資源として再び利用すること

『リデュース』『リユース』『リサイクル』はどれも重要な行動ですが、ごみの発生、**資源の消費をもとから減らすリデュースが一番重要な行動**です。まずは「ごみになるものを買わない、もらわない」「長く使える製品を買う」行動を心がけましょう！

六日町老人クラブ百寿会が町民体育館脇で取り組んでいる、古紙などの資源物集団回収は、町民であれば、どなたでも搬入できます。マナーを守り、リサイクル活動に協力しましょう！
◆利用時間 午前7時から午後6時(毎日)

スマートフォン向けアプリ

さんあ〜る[®] をご活用ください！

令和5年9月19日
現在の利用者数

277人

アプリの便利な使い方はホームページに掲載しています。ぜひご覧ください。



アプリのインストールはこちらから



▲ Apple Store



▲ Google Play

○この記事のお問合せ

三戸町役場 住民福祉課 ☎ 20-1151

○てまえどり!キャンペーンのお問合せ

やってみよう、てまえどり!キャンペーン事務局

(青森県環境生活部環境政策課 循環型社会推進グループ) ☎ 017-734-9249

8/6,11,20 図書館で町内小学生が「1日司書体験」
司書の仕事を体験

図書館司書の業務を体験する「1日司書体験」が三戸町立図書館で行われ、町内の小学3～6年生の児童5人が参加しました。児童たちは、館内の見学や、新着本の受入作業、本の配架やカバーかけなどの図書館司書の業務について学びました。参加した児童は「本のカバーかけが難しかったけれど、楽しかったです。また司書体験があれば参加してみたい」と感想を話しました。



新着本の受入作業を体験する児童



松尾町長（中列右）、達美さん（2列目中央）と家族の皆さん

8/14 大村達美さん 100歳顕彰

ひ孫に会うことが日々の楽しみ

大村達美さん（大正12年8月10日生まれ）が、めでたく100歳の誕生日を迎え、役場で松尾和彦町長から顕彰状と祝い金、記念品を受け取りました。達美さんは、三戸町で5人きょうだいの第2子として生まれました。高等小学校卒業後、大工の弟子として造船などに従事し、終戦後は大工として法光寺三重塔の建立などに携わりました。現在は子ども2人、孫5人、ひ孫6人と家族にも恵まれています。達美さんは「好き嫌いなく何でも食べることが元気の秘けつ。今は、ひ孫に会うことを楽しみに過ごしています」と話しました。

8/22,23 町産ホップを収穫

三戸産ホップの復活に向けて尽力

三戸町地域おこし協力隊の米澤雅貴隊員は、昨年に続き2回目のホップ収穫を行いました。ことしは16キロのホップを栽培し、昨年と比較して1.6倍の収穫量となりました。今後は、地域特性を生かしたクラフトビール造りや、ホップの新たな販路開拓に向けて活動する予定です。米澤隊員は「新たな三戸町の特産品として、三戸産のホップを広めていけるよう活動していきたい」と話しました。



ホップを収穫する米澤隊員（左）

8/30 三戸小チームが相撲東北大会優勝を報告

仲間と励まし合いながら戦い抜く

8月20日に開催された「第42回東北学童相撲大会」の団体戦に出場した小中一貫三戸学園三戸小学校のチームが優勝し、メンバー6人と指導に当たる山下智宏さんが役場を訪れ、松尾和彦町長と慶長隆光教育長に結果を報告しました。選手たちは「お互いに励まし合いながら勝ち進むことができました」と大会を振り返りました。



役場で大会優勝を報告

8/25 小学生おはなし会

想像巡らせ「おはなし」を楽しむ

小学生おはなし会が小中一貫三戸学園三戸小学校（島守詩子校長）で行われ、三戸小学校5年生57人が参加しました。講演では、絵本『11ぴきのねこ』の出版社であるこぐま社の元編集長・関谷裕子さんが講演を行いました。関谷さんは、町出身の漫画家である馬場のぼるさんが小学生時代に描いた絵や習字を紹介しました。関谷さんは「笑いには、人をばかにする残酷な笑いもある。でも、馬場さんは人を傷つけない、楽しい笑いを描いていた」と話し「馬場さんはユーモアのあるおもしろい人だった。皆さんも良い笑いや、ユーモアについて考えてみて」と子どもたちに呼びかけました。

その後、絵本とお話を楽しむ会「ウヒアハ」（小島瑩子会長）のメンバーが2つの教室に分かれて絵本の読み聞かせを行いました。子どもたちは熱心に聞き入り、想像を巡らせながらお話を楽しみました。



子どもたちに講演する関谷さん



石像を水拭きする子どもたち

8/27 三戸小初等部がボランティア活動

清掃を通して地元への愛着を深める

小中一貫三戸学園三戸小学校（島守詩子校長）の初等部（1～4年生）約180人は、ごみ拾いや石拾い、11ぴきのねこ石像の水拭きなどの町内各地の清掃ボランティア活動を行いました。参加した山加果歩さん（2年）は「水拭きしたら、ねこさんが気持ちよさそうにしているうれしかったです」と話し、清水田琉桜さん（3年）は「暑かったので、拭いてもすぐ湯いて大変でした。きれいになったので、みんなに見てほしい」と話しました。

9/4 青森県民駅伝競走大会

仲間の思いをつなぐ たすきリレー

第31回青森県民駅伝競走大会が4年ぶりの公道でのコースで行われました。三戸町の代表選手9人は、26.1kmのコースを1時間32分1秒で走り抜き、総合15位、町の部で6位入賞を果たしました。

また、第3区を走った熊林瑛結さんは、町の部で区間賞となりました。【代表選手】第1区：山本文也（八戸学院光星高3年） 第2区：佐藤迦武伊（三戸小6年） 第3区：熊林瑛結（三戸小6年） 第4区：川市哲也（会社員） 第5区：中山広太郎（三戸中2年） 第6区：上田千聖（三戸中3年） 第7区：芦澤勇太郎（三戸小中学校教員） 第8区：佐藤咲希（三戸中2年） 第9区：佐々木涼蒼（三戸中2年）



たすきをつなぐ選手



リンゴを収穫する松木会長

9/14 「白門りんごの会」収穫体験ツアー

甘くておいしい三戸リンゴに笑顔

中央大学OBで構成される「白門りんごの会」（松木茂夫会長）27人が4年ぶりに三戸町を訪れ、リンゴの収穫体験を行いました。参加者は梅内りんご組合の園地を訪れ、自分たちで収穫した取れたてのサンつがるをほお張り、美味しくいただきました。

松木会長は「久しぶりに収穫体験ができて大変うれしい。甘くて新鮮なリンゴを現地で味わえました」と話しました。

9/16～18 「地元の縄文」再発見フェア in さんぱち

地元の縄文に触れる 貴重な体験

青森県埋蔵文化財調査センターは、三八地域の縄文『「地元の縄文」再発見 in さんぱち』を三戸町中央公民館・三戸町民体育館で開催しました。本イベントでは、三八地域の出土品展示会や、土器の文様をとった缶バッジ製作、火起こし体験などのほか、17日は三八地域各市町村の縄文時代に関する講演会や、沿岸と内陸の縄文文化を語るシンポジウムが行われました。

八戸市から会場を訪れた今勝康さんは「三八地域の出土品がこんなにも多いことを知り、大変驚きました。出土品に実際触れることもでき、貴重な体験になった」と話しました。



出土品展示会場のようす



(左から) 松尾町長、原オフィス長、
第一生命保険職員の方々

9/19 第一生命保険(株)が「うちわ」寄贈

参加者の暑さ対策として活用してほしい

「包括連携協定締結企業」の第一生命保険(株)三戸営業オフィス(原明彦オフィス長)は、さんのへ秋まつりの暑さ対策として、各町内会の山車組と斗内獅子舞保存会に対し、山車がデザインされた「うちわ」600枚を寄贈することの報告で役場を訪れました。同社では地域との連携を通じた社会貢献に力を入れており、原オフィス長は「参加する多くの子どもたちの助けになってくれたらありがたいです」と話しました。松尾和彦町長は「久しぶりに3日間の行程で開催される『さんのへ秋まつり』を、さらに盛り上げる手助けとなってくれると思う」と感謝を述べました。

令和5年度 秋の狂犬病予防注射

犬の所有者には、法律により年1回の「狂犬病予防注射」と一生に1回の「登録」が義務づけられています！



月日	実施時間	実施場所
10月21日(土)	9:20～9:25	蛇沼やまびこ会館
	9:45～9:50	三戸地区生活改善センター
	10:05～10:15	猿辺支所
	10:30～10:35	杉沢バス停前
	11:00～11:10	斗川支所
	11:20～11:25 11:40～11:50	豊川ほうえい会館 図書館前
10月22日(日)	9:10～9:25	松原集会所前
	9:35～9:45	久川町内会館
	9:55～10:10	元木平町内会館
	10:20～10:25	泉山あすなる会館
	10:35～10:40	6分団屯所(細谷)
	10:55～11:15	目時さわやか会館
	11:30～11:50 12:00～12:20	旧寺牛スタンド前 三戸町役場来客用駐車場

期間中はどこの場所でも

予防注射と登録ができます。

- 🐾 新しく犬を飼った人、生後3カ月以上の子犬を飼っている人は、登録・注射を行ってください。
- 🐾 注射は公共の場所で行うので、犬のふんは飼い主が責任を持って処理してください。
- 🐾 飼い犬の死亡や譲渡があった場合は、役場住民福祉課にお知らせください。

●登録料 3,000 円

●注射料 3,300 円

(内訳：注射 2,750 円、注射済票交付手数料 550 円)

【問い合わせ先】 三戸町役場 住民福祉課
☎ 20-1151



新 ALT (外国語指導助手) を紹介します!

ゾーイ・ポラーさん (24歳)

三戸小・中学校で指導

三戸町の皆さん、よろしくお願ひします!

『ゾーイ』と呼んでください。アメリカのカリフォルニア州から来ました。大学生のとき、日本語を上手に話せるようになりたいと思って、英語を教えながら日本の子どもたちと過ごせる ALT の仕事をやってみよう決めました。

三戸町は、私の住んでいたカリフォルニア州と比べて、緑がたくさんあって自然豊かな美しい町だと感じました。

町の人たちはとても親切で、アメリカから来た私を歓迎してくれました。たくさんの人とふれ合って、楽しい思い出を作りたいです。これから、よろしくお願ひします!!

Hello, nice to meet you.



第三者承継 を考えてみませんか?

「relay the local 三戸町」が始まります!

譲りたい
事業者の利用は
無料

本サービスは、事業や会社を譲り渡したい中小企業者（農家を含む）と事業を譲り受けたい継業希望者を web 上でマッチングさせるサービスです。プロのライターとカメラマンの取材によって、事業者の魅力や魅力を十分に伝える記事を作成し、後継者を募集します。また、事業者専任のコーディネーターが、情報公開から基本合意まで伴奏支援するので安心です。後継者を募集したい事業者は、お気軽にご相談ください。



相談受付 ▶ 運営会社(株)ライトライト ☎ 0120-417-007 / 三戸町まちづくり推進課 ☎ 20-1117

ねえ! 宮下知事
事業を継ぐって、難しい?

さまざまな事業承継を県と関係機関が全力でサポートします!

親族内承継 従業員への承継 第三者への承継

- 親族に後継者がおらず、廃業又は会社やお店の譲渡を考えている方
- 後継者のいない会社を引き受けて事業を拡大したい方
- 具体的にどのように承継すればよいかわからない方

まずはお気軽にご相談ください。

～事業承継の相談をワンストップで～
青森県事業承継・引継ぎ支援センター
(公財) 21あもり産業総合支援センター内

TEL 017-723-1040 FAX 017-735-5777
E-mail hikitsugi@21aomori.or.jp
https://www.21aomori.or.jp/jigyoushoukei

なに? 王林さん
事業承継で悩んだら、早めに相談しましょう!

青森県
Aomori Prefecture Government

11

月

行事予定表



日	月	火	水	木	金	土
10/29	30	31	11/1	2	3	4
	・食生活改善推進員養成講座⑧ (保健センター 9時～12時)	・町県民税3期、国民健康保険税4期 納期限	・集団健(検)診 (ジョイワーク三戸 受付7時～9時)	・集団健(検)診 (ジョイワーク三戸 受付7時～9時)	・文化の日 ・三戸町総合文化祭(～5日) ・子ども文化作品展・公民館まつり(～5日)	
5	6	7	8	9	10	11
		・メタボ撃退教室 (保健センター 受付13時～)			・おなかすっきり教室 (保険センター 個別相談・要予約)	
		 8月22日、ヴァンラーレ八戸FCが、サッカークラブ「三戸カーネリアンズ」の子どもたちにシーズンパスを寄贈しました。	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
			・集団健(検)診 (ジョイワーク三戸 受付7時～9時)	・勤労感謝の日	・環境出前講座 (三戸小)	・集団健(検)診 (ジョイワーク三戸 受付8時～10時)
26	27	28	29	30	12/1	2
・修学旅行(三戸高・～30日)	・認知症専門相談 (保健センター 9時～12時) ・脳の健康度チェック (保健センター 13時30分～14時30分)		・古着回収 (～12月2日)	・固定資産税4期、国民健康保険税5期 納期限		

令和4年度三戸町学校保健会 入選標語 ※学年は昨年度のものです。

やめようよ ながら運転 じこのもと

(三戸小3年 松澤 晴人)

忘れるな みんなで手洗い マスクと換気

(三戸小6年 山田 峯義)

図書館 だより

開館時間 10:00~18:00
☎22-1731 FAX 22-1606



本のリクエストがあれば教えてください。

借りた本が破れていた時には、テープを貼ったりせず、そのままの状態スタッフにすぐ教えてください。

今月の新刊

小説・エッセイ	作者・監修	出版社
ハンチバック	市川 沙央	文藝春秋
縁切り上等! 離婚弁護士松岡紘の事件ファイル	新川 帆立	新潮社
我、鉄路を拓かん	梶 よう子	PHP 研究所
ノンフィクションほか		
世界にひとつだけの洋服と小物 1着=300円からの古きもので作る	吉田 三世	ワニブックス
きょうの猫村さん 10	ほし よりこ	マガジンハウス
NATO〈北大西洋条約機構〉を知るための71章	広瀬 佳一	明石書店
児童書		
けんかのだね	ラッセル・ホーバン	岩波書店
食べて楽しむ科学実験図鑑	尾嶋 好美	SBクリエイティブ

10月のスケジュール

12日(休)移動図書館(斗川小)
28日(土)第3回歴史講座
(三戸町中央公民館)

- 休館日：毎週月曜日
※9日(月・祝)は開館。
10日(火)が休館です。
- 図書整理休館日：26日(休)

図書館からのお知らせ

著作権法第31条の規定により、発行当日の新聞の写真撮影や複写(コピー)をすることはできません。当館では、発行の次の日から1枚10円で複写を受け付けておりますのでご利用ください。

一般書

得する!楽しい!安心!シニアの暮らし便利ブック
太田 差恵子(産業編集センター)



得するサービス、便利なアイテム。無理なく稼ぐ方法。医療費、介護費、老後費用。健康のこと。リスク対応。後悔しない終活。自分らしいシニアライフをおくるために知っておきたい情報満載!

おすすめ本

児童書

かっぱまきください!!
まつなが もえ(小学館)



誕生日のお祝いに回転ずしにやって来たさらたろう。おいすぎるかっぱ巻きにつられてとなりのお客さんも注文しはじめますが…。読み聞かせにおすすめの絵本です。

のぼたん広場

子育てを
応援！

のぼたん広場では、子育て中の親子の皆さんを対象に、次の支援を行っています。
①交流の場の提供 ②相談・援助 ③関連情報の提供 ④講習などの実施 の4つです。
お友達づくりをしながら、リフレッシュできる広場ですので、どうぞ気軽においでください。

○開設時間：月曜日～日曜日 8:15～16:45

平日の9:00～15:00は、ゆりかごのスタッフが対応します！

○場 所：ふくじゅそう1階 のぼたん広場



外山 惺雄くん
(11カ月)

10月のスケジュール

<おやこ交流 ひよこコース>

毎週木曜 10時30分～12時

[対象]:生後2カ月～よちよち歩きまでの
お子さんを持つ親子

<おやこ交流 パンダコース>

毎週火曜 10時30分～12時

[対象]:歩行完了～就園前のお子さんを持つ親子

<フリー day>

毎週月・水・金曜 9時～15時

[対象]:生後2カ月～就園前のお子さんを持つ親子

<うたってあそぼう講座>

10日(火) 10時30分～(20分程度)

[対象]:生後2カ月～就園前のお子さんを持つ親子

<おしゃべりサロン&マタニティのママ体験>

25日(水) 10時30分～12時

[対象]:生後2カ月～就園前のお子さんを持つ
親子・妊婦さん

<小学生によるのぼたん広場の利用について>

お子さんの成長過程において、小学生になると
遊びが変わってきます。小学生以上のお子さんは
利用できませんので、ご了承ください。

※状況によって変更になる場合があります。

のぼたん文庫 おすすめ本

「いえでをしたてるてるぼうず」

日曜日、だれもないおうちの窓で、
てるてるぼうずがぶんぶんおこっています。
「こんなにいいおてんきにしてあげ
たのに」ひとりおいてきぼりにされて、
家出をしたら…。



○のぼたん文庫では、絵本の貸し出しをしています(一人
3冊・2週間まで)。どうぞご利用ください。

お知らせ

令和5年度 第1回 みんなの体験広場

今年度も「みんなの体験広場」を開催します。

ハロウィン工作やオリジナルポーチづくり・抹茶体
験など、6種類の体験コーナーを用意してお待ちして
います。軽食コーナーもありますので、お気軽に遊び
に来てください。

■日 時 10月15日(日) 10時～14時

■場 所 ジョイワーク三戸

■持ち物 上履き、飲みもの

■対 象 幼児から小学生までとその家族

(小学2年生以下のお子さんは、保護者同伴)

※詳しくは、チラシをご覧ください。

<問い合わせ先> NPO 法人子育て支援ネットゆりかご ☎ 20-0070 E-メール: yurikago3@gmail.com

パート4

認知症を知ろう

相談先

三戸町地域包括支援センター
(健康推進課内) ☎ 20-1153

認知症は老化現象ではなく脳の「病気」です。

認知症には、アルツハイマー型認知症や脳血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症
などいくつかの種類があります。認知症はこのようなライフスタイルを送ることで、予防ができます。

①食が細くなったことで「低栄養」に注意し、血管の老化を防ぐ食事を摂る。

②運動は、脳の活動を活発にし、認知症予防にもなる。日々の家事にも運動効果がある。

③趣味活動や人と会話をする機会を大切にする。

認知症の普及啓発や交流のための認知症カフェや介護予防のための生き生き教室、身体の運動と脳
の運動を組み合わせた認知症予防の事業もあります。詳しくは、三戸町地域包括支援センターへご相
談ください。



●パソコン自主学习支援 (会員限定)
 毎週木曜 (19時～20時30分)
 ※個別指導 (会員問わず)
 (19時～20時)
 対象:小学生以上
 会場:ジョイワーク三戸
 料金:会員1,100円、会員以外1,600円
 【30分料金半額】
 準備物:ノートパソコン

令和5年度クラブ 会員を募集します!

令和5年度のクラブ会員やスポーツ指導者(有資格者)を募集します。詳しくはお問い合わせください。

10月の
 予定

サークルスケジュール

種目	日時	場所
ラージボール	毎週火・木曜 ※24、31日除く 【前半】9時～10時30分 【後半】10時30分～12時	ジョイワーク三戸
Enjoy♪ピンポン☆	毎週月・水曜 ※9、23日除く (19時～20時30分)	ジョイワーク三戸
ネオホッケー	14、28日 (18時30分～20時30分)	アップルドーム

教室スケジュール

種目	日時	場所
楽笑ストレッチ	毎週月曜 ※9、23日除く (13時30分～15時)	ジョイワーク三戸
かんたん筋トレ	水曜▶4、11、18、25日 金曜▶6、20、27日 (10時～11時30分)	ジョイワーク三戸
キッズサッカー	毎週木曜 (17時30分～18時30分)	三戸学園第2グラウンド

※「教室」は参加料が必要 (クラブ会員550円、会員以外1,100円)
 ※サークルおよび教室、スクールの体験は自由にできますが、1回までとさせていただきます。



(一社) さんへのスポーツクラブEnjoyクラブハウス (ジョイワーク三戸内)
 TEL・FAX 22-2503
 HPアドレス <http://ssce.web.fc2.com/index.html>
 Eメール s.sports-club.enjoy@bell.ocn.ne.jp

会員募集中



おうちで作れる

第18弾

問 三戸町食生活改善推進委員会「つくしの会」 ☎ 20-1152

三戸の郷土料理

◆今月の献立は… **いか飯**

☆材料☆

いか→中10パイ、もち米→1合(150g)、にんじん→50g、
 干し椎茸→3枚、【つけ液】しょうゆ→100cc、塩→少々、
 みりん→大さじ3、砂糖→大さじ2

☆作り方☆

- ①もち米は洗って2時間以上水につけておく。
- ②水でもどした干し椎茸、にんじんを千切りにし、いかは足を抜き3cmくらいに切る。
- ③もち米は水切りし、②を混ぜ合わせる。
- ④③の具を生いかの中に入れ、爪楊枝でとめる。
 (いかは縮み、米は膨張するので具は7割程度入れる)
- ⑤つけ液に④のいかを入れて20分くらい煮込んで、できあがり。



糖尿病予防の三本柱

- ①肥満の解消
 …肥満細胞から血糖値や血圧を上げるホルモンが出ます。
- ②食生活の改善
 …血糖値を上げるのは唯一「糖質」のみ。糖質のとりすぎに注意しましょう!
- ③運動習慣
 …運動により血液中の糖分が使われ、血糖値を下げたり肥満予防になります。

【糖質が多い食べ物】

食材	食品
米	ご飯、もち、おかきなど
小麦	パン、うどん、せんべい、だんご、ひつまみ、くしもち、ケーキなど
いも	肉じゃが、焼き芋など
果物	リンゴ、ブドウ、桃、サクランボ、梨、みかん、ジュースなど
砂糖	甘い飲料、砂糖を使ったお菓子や料理など

※ご飯150gの糖質の量は、角砂糖17個分(55g)に相当します。
 血糖値を上げるのは甘い食べ物だけではないので、食事全体のバランスを整え、糖質の必要量を守ることが、糖尿病予防につながります。

税金

納税相談・収納業務の時間延長

☎ 三戸町役場 税務課 ☎ 20-1118

■日時 10月30日(月)、31日(火)
午後5時～午後7時

■場所 三戸町役場1階 税務課

・税金を未納のままにしておくと、差し押さえなどの滞納処分を受けることがあります。納税が困難な時は、お早めにご相談ください。

便利な振替納税をしましょう

町税は口座振替(通帳自動引き落とし)ができます。納期のたびに金融機関などに納めに行く手間を省くことができ、また納め忘れにより督促状が届くようなこともなくなります。

通帳とお届け印をお持ちいただければ、すぐに手続きできますので、役場税務課、または各金融機関窓口へお問い合わせください。

納期のお知らせ

10月31日(火)は、町県民税3期、国民健康保険税4期の納期限です。納期内に納めましょう。

QRコードを利用して町税を納付

地方税共同機構が提供する「地方税お支払サイト」によりクレジットカード、インターネットバンキングなどでの納税や、各種スマホ決済アプリを利用した納税ができます。

○納付書の中央下に印字されたQRコードを読み取ることで、パソコンやスマートフォンから納付できます。

○納付には、各種スマホ決済アプリや、eLTAXの「地方税お支払サイト」をご利用いただくことになります。

■対象税目 ▼地方税お支払いサイト

個人町県民税(普通徴収分)

固定資産税

軽自動車税(種別割)

国民健康保険税



(注意)

・領収書が必要な場合は、コンビニ、各金融機関、役場会計課窓口で、現金によりお納めください。

・クレジットカードの納付によって、決済手数料などが発生し、自己負担となることがあります。納税によるポイント付与など、詳しくは各クレジット会社のホームページ、「地方税お支払サイト」でご確認ください。

・納税処理をした後、お手元に納付書が残ります。二重納付をすることのないようご注意ください。

・軽自動車の車検に使用する納税証明書が必要となる場合は、現金での納付をお勧めします。

情報 掲示板

お知らせ

公民館講座のご案内

☎ 三戸町中央公民館 ☎ 22-2186

三戸町中央公民館では、公民館講座(前期)を開設しています。

10月に開催する講座は下記のとおりです。

講座	日にち	時間
体スッキリ かんたん筋トレ	【火曜】10、24日	19時～20時30分
アロマフィットネス 押し花教室	【火曜】3、17日 【水曜】11、25日	19時～20時30分 10時～12時
料理教室	【水曜】4日	9時30分～ 12時30分
鉛筆画教室	【木曜】5、19日	10時～12時
ルーシーダットン	【木曜】5、19日	19時～20時30分
ファミリー スポレク教室	【土曜】14日	10時～11時30分

○受講生は随時募集中です。詳しくはお問い合わせください。

支援

合併処理浄化槽の設置を支援

☎ 三戸町役場 建設課 ☎ 20-1154

生活環境の保全および公衆衛生の向上を目的として、新規に合併処理浄化槽を設置する人へ補助金を交付します。詳しくは、お問い合わせください。

■補助金額

人槽区分	限度額
5人槽	390,000円
6～7人槽	474,000円
8～10人槽	660,000円
※宅内配管工事	300,000円



■申込方法 申請書に必要書類を添えて三戸町役場建設課へ提出

■要綱など 三戸町ホームページ

<https://www.town.sannohe.aomori.jp/>

お知らせ

消費税のインボイス制度説明会

☎ 八戸税務署 法人課税第一部門 ☎ 0178-43-0145

制度の概要や留意点について、下記の日程により説明会を開催します。なお、説明会終了後に登録要否相談会を実施します。

■開催日時 10月20日(金)

① 10時～11時 ② 14時～15時

(②は消費税の仕組みから知りたい人向け)

■開催場所 八戸税務署2階 第一会議室

■定員 各40人

■参加方法 電話予約(10月13日(金)まで)

支援

高齢者等インフルエンザ予防接種助成

問 三戸町役場 健康推進課 ☎ 20-1152

■対象者

町内に住所があり、次のどちらかに該当する人

- ① 65歳以上
- ② 60～64歳で、心臓や腎臓または呼吸器の機能に障害を有する人、およびヒト免疫不全ウイルスにより免疫機能に障害を有する人（身体障害者手帳1級と認められる人）

■自己負担額 1,000円

※生活保護受給者は無料

■助成期間 令和6年1月31日(水)まで

※1回の接種に限る

■接種申込 接種方法を各実施機関に確認し、必要な手続き(予約など)をした上で、接種してください。

■助成方法

①町内実施機関・町外契約実施機関で接種した場合→実施機関で1,000円を支払う

町内実施機関：三戸中央病院、田島医院、ほほえみ三戸（入所者に限る）

町外契約実施機関：田子診療所、福原胃腸科外科医院、孔明荘（入所者に限る）、南部病院、スワンクリニック、はらだクリニック

②上記実施機関以外で接種した場合

→料金を全額支払った後、2月29日(木)までに、役場健康推進課（保健センター）で手続きをしてください。後日、指定口座に助成金を振り込みます。

※対象者には事前に案内を送付しております。助成期間中に対象年齢に達した接種希望者は、役場健康推進課へご連絡ください。

子どもインフルエンザ予防接種助成

■対象者

町内に住所がある生後6か月～18歳までのお子さん

■自己負担額 1回あたり1,000円

■助成期間 令和6年1月31日(水)まで

※生後6か月以上13歳未満→2回まで
13歳以上→1回のみ

■接種申込 接種方法を各実施機関に確認し、必要な手続き(予約など)をした上で、接種してください。接種当日は、保護者の同伴が原則です。

○中学生以下→保護者が同伴できない場合、普段からお子さんの健康状態を把握している親族などが同伴し、委任状の提出が確認できれば接種可能です。

○高校生相当→同意書の提出が確認できれば、お子さん一人で接種可能です。

■助成方法

①町内実施機関・町外契約実施機関で接種した場合→実施機関で1,000円を支払う

町内実施機関：三戸中央病院

田島医院（高校生相当のお子さんに限る）

町外契約実施機関：南部病院、スワンクリニック、はらだクリニック、田子診療所、福原胃腸科外科医院

②上記実施機関以外で接種した場合

→高齢者等インフルエンザ予防接種助成と同様

相談

困ったら一人で悩まず 行政相談

問 三戸町役場 総務課 ☎ 20-1115

青森行政監視行政相談センター

☎ 0570-090110

◆10月16日(月)から22日(日)は

『行政相談週間』です

毎日の暮らしのなかで、役所の仕事に関する苦情や意見・要望などがあつたときに、身近な相談相手役となるのは、行政相談委員（総務大臣が委嘱）です。

道路・河川、年金、医療保険、老人福祉、登記、窓口サービスなど、役所が行う仕事について、

○苦情を直接申し出にくい

○要望があるが、どこへ話をしたらよいかわからない

○制度や仕組みがわからない

○困りごとがあるが、どこに相談してよいかわからないなど、お困りの人はお気軽にご相談ください。

なお、定例の『行政相談』は、下記のとおり開設しています。

■日時 10月18日(水) 午後1時～午後3時

■場所 総合福祉センターふくじゅそう1階相談室

行政相談委員は、皆さんの身近な相談相手として相談を公平・中立な立場で親切にお聞きし、その解決のための仕事を無報酬で行っています。相談は無料で、相談者の秘密は守られます。

■相談委員 高森 正義さん（総務大臣が委嘱）

募集

三戸町公式「LINE」友達募集

問 三戸町役場 まちづくり推進課 ☎ 20-1117

三戸町の公式LINEとつながりませんか。ご自宅で回覧板などを見なくても、スマートフォンなどで、町からさまざまな情報をお手軽に確認できます。

■町からのさまざまな情報をお届けします

- ①町公式ホームページ・広報紙・回覧・各戸配布のチラシなどで提供した情報、②イベントなどの開催情報、③防災情報、④子育て・教育・産業振興に関する情報、⑤その他、急を要する情報

■登録情報 ID：@town.sannohe.11

LINEの友だち追加からID検索またはQRをスキャンして登録してください。

■配信日

原則毎週火曜日17時配信



お知らせ

認知症専門相談

問 三戸町役場 健康推進課 ☎ 20-1153

「もの忘れが気になる」「今までできていたことが上手くできない」など不安をお持ちの人は一度相談をしてみてもいかがでしょうか？

■日時 10月23日(月) 午前9時から12時まで

■場所 保健センター集団指導室

※事前に電話での予約をお願いします。

消防

リチウムイオン電池からの
火災に注意！

☎ 三戸消防署 ☎ 22-1140

リチウムイオン電池は、モバイルバッテリー、スマートフォン、コードレス掃除機、ノートパソコンなど幅広く使用されていますが、充電中や使用中のリチウムイオン電池から出火する火災が増えています。

【火災事例①】

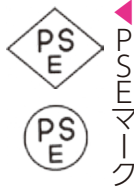
日中に屋外駐車場の自動車内でモバイルバッテリーを充電コードのみ接続した状態で置いていたところ、発火。

【火災事例②】

スマートフォンをポケットに入れた状態で転倒したため、衝撃により、内部ショートが生じて異常発熱し、発火。

●火災を防ぐために

- ①購入する際は、電気製品が安全性を満たしていることを示す「PSEマーク」が付いている製品にしましょう。
- ②機器購入時に付属されているメーカー指定の充電器やバッテリー（純正品）を使用しましょう。
- ③接続部が合致するからといって、充電電圧を確認せずに使用するはやめましょう。
- ④膨張、異音、異臭など異常が生じたものを使用するはやめましょう。
- ⑤充電が最後までできない、使用時間が短くなった、充電中に熱くなるなどの異常があった際には使用をやめて、メーカーや販売店に相談してください。
- ⑥自動車内など高温下に放置しない。
- ⑦廃棄の際は、三戸町役場、中央公民館、斗川支所、猿辺支所の小型家電回収ボックスへ出ししましょう。



秋の火災予防運動

「火を消して 不安を消して つなぐ未来」

10月16日(月)から10月22日(日)までの一週間、県下一斉に「秋の火災予防運動」が行われます。

この運動は、火災予防運動の普及を図り、火災発生を未然に防止し、尊い生命や財産を守ることを目的としています。火災の発生しやすい時期となるため、火の取扱いには十分気を付けましょう。

お知らせ

マイナンバーカードの交付状況

☎ 三戸町役場 住民福祉課 ☎ 20-1151

	三戸町	青森県	全国
交付件数(件)	7,420	939,905	95,131,864
人口(人)	9,172	1,225,497	125,416,877
人口に対する 交付率(%)	80.9	76.7	75.9

※交付件数は、令和5年8月末現在

※人口は、青森県・全国・三戸町：令和5年1月1日現在

お知らせ

八戸地域広域市町村圏事務組合
消防業務の紹介

☎ 消防本部 総務課 ☎ 0178-44-2132

八戸広域消防は、管轄する1市6町1村の約31万人の生命、身体、財産を守るため、消防本部、5つの消防署、5つの分署、8つの分遣所で組織されており、職員404名、車両87台を配備しています。

消防では、「消火」「救急」「救助」のほか、事業所や危険物施設に立入検査を行う「予防業務」、火災の発生原因を調べる「火災調査」や「救命講習会の開催」などの業務を行っています。

■過去3年間の八戸圏域における出動状況

区分	令和2年	令和3年	令和4年
火災	106	110	104
救急	12,075	12,288	13,920
救助	67	68	58

消防本部では、ホームページを運用しております。住民の皆さんによりわかりやすく情報をお伝えできるよう更新します。

▶ <https://www.city.hachinohe.aomori.jp/section/koiki/shobo/>

○各種申請書類、救命講習などの申込書類もホームページに掲載していますので、ご活用ください。

お知らせ

第2回青森県「県民公開講座」

☎ 青森県・弘前大学医学部附属病院 脳卒中・心臓病等総合支援センター ☎ 0172-39-5459

■日 時 10月26日(木) 午後3時～午後4時

■場 所

- ①弘前大学医学部コミュニケーションセンター
- ②弘前大学医学部附属病院 「脳卒中・心臓病等総合支援センター」内で実況中継
- ③ZOOMにて配信

■内 容

- ①「脳卒中を予防するお食事」
講師：管理栄養士 嶋崎真樹子
- ②「脳卒中とお薬の付き合い方」
講師：薬剤師 大久保翔
- ③個別相談会（希望者のみ）メールや電話でも相談できます

※参加・相談ともに無料

■定 員 現地開催・ZOOM 各100人

■申込方法

- ①ホームページの「県民公開講座参加申し込み」から
- ②右記QRコード内登録フォームから
- ③電話、メールにて申し込み

■問合せ先

青森県・弘前大学医学部附属病院 脳卒中・心臓病等総合支援センター

mail:noushincenter@hirosaki-u.ac.jp



お知らせ

看護のお仕事相談会

問 (公社) 青森県看護協会 青森県ナースセンター
☎ 017-723-4580

青森県ナースセンターでは無料職業紹介事業として看護職の相談員が出向いて、看護職の皆さまのお仕事探しをサポートしています。お気軽にお越しください。

■開催日

令和5年：10月11日(水)、11月8日(水)、
12月13日(水)
令和6年：1月10日(水)、2月14日(水)、
3月13日(水)

■時間 午後1時30分～午後4時まで随時受付

■場所 ハローワーク八戸

※青森県ナースセンター（青森市）では月曜～金曜日の9時～16時まで、来所・電話・メールなどで随時、相談を受け付けています。お気軽にご利用ください。



■問合せ

公益社団法人青森県看護協会 青森県ナースセンター
TEL：017-723-4580 FAX：017-735-3836
メールアドレス：aomori@nurse-center.net

お知らせ

障害者就職面接会

問 八戸公共職業安定所 専門援助部門
☎ 0178-43-9248 (43#)

ハローワーク八戸では、障害者の雇用促進を目的として、就職をめざす障害者を対象とした就職面接会を開催します。

■日時

11月17日(金)
午前の部：午前10時～12時
午後の部：午後1時30分～午後3時30分

■場所 八戸市津波防災センター

■申込期限 11月6日(月)

お知らせ

三戸町奨学奨励金を交付します

問 三戸町役場 まちづくり推進課 ☎ 20-1117

令和4年度（令和4年4月～令和5年3月）に返還した奨学金の返還金額を奨励金として交付します。以下の要件をすべて満たす人が対象です。

- ①三戸町から奨学金を借りて進学した人
- ②「奨学金の返還の開始」または「三戸町への転入」が、平成28年4月1日以降で、令和5年10月1日時点で三戸町に居住しており、今後も居住する見込みのある人
- ③奨学金の返還期限までに返還している人（期限を過ぎてからの返還が1月でもある場合、対象となりません。）
- ④町税や保険料などを滞納していない人

■申請期間

令和5年10月2日(月)～令和5年12月28日(木)

■申請窓口

三戸町役場2階 まちづくり推進課

お知らせ

青森県中小企業者等 LP ガス・特別高圧電気価格高騰対策支援金

問 青森県商工労働部地域産業課 経営支援グループ
☎ 017-723-4580

青森県は、エネルギー価格高騰の影響により、厳しい経営環境が続いている県内中小企業者の負担軽減を図るため、国の「電気・ガス価格激変緩和対策事業」の支援対象外となっている「LPガス」や「特別高圧電気」を使用する県内中小企業者に対し、その使用量に応じて支援金を給付します。

■給付金額

令和5年1～9月分の使用量に支援単価を乗じた額
※家庭用を対象としたLPガス料金の値引きや、県のほかの支援金の対象となる場合は対象外です。

■申請受付期間

11月30日(木)まで ※郵送の場合は当日消印有効

■申請先

主たる事業所の所在地を所管する商工会、商工会議所または青森県商工会連合会

■専用電話相談窓口

○開設日 6月28日(水)～12月25日(月)までの平日
○開設時間 午前9時～午後5時
○電話番号 0120-66-0217 (通話料無料)
※支援金制度詳細は、県ホームページをご覧ください。
<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/shoko/chikisangyo/>

お知らせ

八戸圏域連携中枢都市圏の形成に関する講演会

問 八戸市 政策推進課 ☎ 0178-43-9248

■日時

11月9日(木) 午後3時30分～午後4時40分

■場所

ユートリー1階多目的大ホール
(八戸市一番町一丁目9-22)

■テーマ

「移動型緊急手術室ドクターカーV3について(仮)」

■講師

浅川拓克 氏(八戸工業大学 工学部工学科 准教授)
今明秀 氏(八戸市立市民病院 事業管理者)

■参加料

無料(事前申込が必要です。先着30人まで。)

■申込方法

八戸市ホームページ(終日)の申込みフォームより、11月2日(木)までにお申込みください。

募集

三戸町 木の駅 会員を募集!

☎ 三戸町役場 農林課 ☎ 20-1155

◆「木の駅」とは

町内の山林で切り捨てられている林地残材などを2mないし1mに切って、指定の場所に出荷します。出荷した木を売って、地域通貨でお支払いします。

◆会員登録について

○資格

三戸町に在住し、町内に山林を所有している人

○講習会

会員申込後に1時間程度の安全講習会を受講します。(随時開講予定)

○登録料 1,000円(次年度以降は年会費として徴収)

○申込書 役場3階農林課に設置

木の駅の加盟店も募集しています。詳しくは、役場農林課までお問い合わせください。

年金

国民年金納付相談および免除相談窓口を開設します

☎ 八戸年金事務所 国民年金課 ☎ 0178-44-1742

国民年金保険料の納付、免除に関するご相談について、日本年金機構の担当者が対応します。基礎年金番号(またはマイナンバー)がわかる書類などをご持参のうえ、お気軽にご相談ください。

■日時 11月7日(火) 午前10時~午後3時30分

■場所 三戸町中央公民館2階 第2会議室

税金

車検時における自動車税種別割の納税証明書の提示省略について

☎ 三八地域県民局 県税部 ☎ 0178-27-5111 (内線211、327、357)

自動車税種別割の納付確認が電子化されているため、自動車税種別割の継続検査(車検)用の納税証明書の提示を省略することができます。

納付情報がシステムに反映されるまで相応の日数(約2週間)を要するため、自動車税種別割を納付後すぐ車検を受ける人は納税証明書が必要となります。

納税証明書の発行に必要な手続や各種申請書は、県税部へのお問い合わせまたは県ホームページによりご確認ください。

お知らせ

労働時間相談・支援コーナー

☎ 八戸労働基準監督署 労働時間相談・支援コーナー ☎ 0178-46-3311

八戸市労働基準監督署では、働き方改革に取り組む事業主や労務管理担当者からの労働基準法の改正内容などのご相談を受け付けています。詳しくはお問い合わせください。

・・・以下は、有料広告です。

**60歳からの
助だち人生**

*青森労働局委託事業・高齢者活躍人材確保育成事業
(公益社団法人青森県シルバー人材センター連合会)



**わたしの
働き方改革**

お仕事の一例や
会員さんの声はこちらから



三戸町シルバー人材センター 三戸町大字在府小路町17番地
総合福祉センター「ふくじゅそう」・社会福祉協議会内 ☎ 0179-22-0262

普通肥料 (汚泥肥料) 生第85798号 (肥料取締法に基づく登録)

性状: 粉 / 肥料成分: 窒素1.6% リン: 3.5% カリ: 1.6%

安全でよく育つ肥料 使ってみませんか?


アースライフ

肥料価格 (配達料込) ※税込価格です

4t車 **¥4,400** 10t車 **¥11,000**

必要量は相談に応じます ☎ 0176-22-2061
(担当: 畠山)

にんにく 1反-3t / 長芋 1反-2t / 葉もの 1反-1t / 田んぼ 1反-0.3t

 **県南環境保全センター(株)** 十和田市大字三本木字野崎 40-370

※町では、財源確保などのため広告を掲載しています。なお、掲載する広告は、三戸町が推奨するものではなく、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

※広告掲載の申込みなどについては、三戸町役場まちづくり推進課まで ☎ 20-1117

消費生活情報 No.36

エステティックサービスの契約に注意!

- ▶脱毛のお試しの広告を見て、脱毛サロンへ行った。
- ▶カウンセリングを受けると「30万円の5年間通い放題コースがキャンペーン中でお得」だと勧められ契約した。
- ▶数回通ったが、効果がなく、中途解約を申し出たところ「キャンペーン価格の契約なので、返金はできない」と言われた。
- ▶まだ数回しか通っていない。解約し、残りの分の返金はできないのか。

<ひとこと助言>

- ☆低価格の広告をうのみにしない。
- ☆強引な勧誘はきっぱりと断る。
- ☆契約内容をよく確認する。

消費者ホットライン ☎188 (局番なし)

お近くの消費生活センターにつながります。

三戸町相談窓口紹介ネットワーク
三戸町役場まちづくり推進課 ☎20-1117

お知らせ

木造住宅耐震診断支援事業

☎三戸町役場 建設課 ☎20-1154

～家の状態をチェックしましょう～

耐震診断員を派遣し、耐震診断を実施します。

■対象住宅

- ①昭和56年5月31日以前に建築
- ②在来軸組構法または伝統的工法により建築された木造住宅で、地上階数が2以下
- ③一戸建ての専用住宅または併用住宅（延べ床面積の1/2以上が住宅で、住宅以外の床面積が50㎡以下）
- ④建築基準法に違反していない
- ⑤過去に同じ制度により耐震診断を受けていない

■個人負担額

延べ面積	診断費総額	個人負担額
200㎡以下	147,000円	11,000円
200㎡超～250㎡以下	168,000円	32,000円
250㎡超～300㎡以下	189,000円	53,000円
300㎡超～350㎡以下	211,000円	75,000円
350㎡超～400㎡以下	232,000円	96,000円

ふるさと納税 寄附者からのメッセージ

- ◆ 11匹きのねこが大好きなので寄付をしました。これからも三戸町がますます盛り上がっていきますように。(岐阜県)
- ◆ おいしいリンゴジュースをありがとうございます。味や甘みが絶妙で好きです。(東京都)
- ◆ フルーツのおいしい三戸町。いつか行ってみたいです。(広島県)

「ふるさとチョイス三戸町ページ」で、寄附者の皆さんからのメッセージをたくさん紹介しております。



ふるさとチョイス 三戸町

検索

全国の皆さま、応援ありがとうございます!

編集ノート

人形劇団「クラルテ」の皆さんによる三戸町公演が、4年ぶりに開催されました。生き生きと動いている人形に大人も子どもも目を輝かせて観劇していました。
「クラルテ」は、ことしで創立75周年を迎えたさうで、100周年に向けて、これからも活動していきたいと団員の皆さんは話していました。またいつか、クラルテの皆さんのすてきな公演を三戸町で観劇したいと感じました。(自宅に犬の人形が たくさんある 境澤)

木造住宅耐震改修支援事業

～家を耐震改修しましょう～

上記の耐震診断事業を実施した結果、倒壊する可能性があるると判定された場合に、耐震改修工事などの費用の一部を補助します。

■対象住宅

- 耐震診断の結果、倒壊する可能性があるると判断された住宅
- 耐震診断後、増改築をしていない住宅

■補助金額

(工事費 + 設計費 + 現場管理費) × 23%
※上限額 1,004,000円

ブロック塀等耐震改修促進支援事業

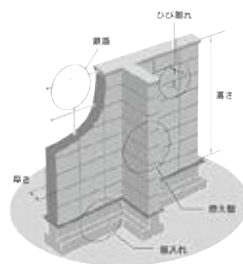
～ブロック塀の管理をしましょう～

■補助対象塀

- 組積造の塀またはコンクリートブロック造の塀
- 通学路または避難路沿道にあるもの
- 工事業者などの耐震診断において、危険性があると判断されたもの
- 道路面から高さが1m以上のもの
- ※その他要件あり

■補助金額

工事費 × 2/3
※上限額 120,000円



9/16 開催

人形劇団 クラルテ

人形劇「11ぴきのねことへんなねこ」

三戸町公演が行われました！



町出身の漫画家故・馬場のぼるさんの人気絵本「11ぴきのねこ」シリーズのひとつ『11ぴきのねことへんなねこ』の人形劇公演がアップルドームで行われました。公演は、大阪の人形劇団「クラルテ」によるもので、三戸町で

の開催は、令和元年度に開催された同劇団の人形劇『11ぴきのねことあほうどり』ぶりの3回目となりました。午前と午後の2回公演に、町内外から約300人が訪れ、人形劇を楽しみました。

会場には、11ぴきのねこグッズ、フェイスシールなどのブースが立ち並んだほか、人形劇限定スタンプラリーの開催や11ぴきのねこたちとの写真撮影会が行われるなど、来場者は11ぴきのねこの世界にどっぷりと浸りました。

劇中では、まるで生きているかのように動く11ぴきのねこたちの人形が、観劇者を魅了しました。公演後は、11ぴきのねこグッズが当たる大抽選会が行われました。

青森市から来た斉藤富子さんは「ねこたちの動きや表情が豊かで、すばらしかった。11ぴきのねこの世界に浸りながら、大変楽しめました」と話しました。三戸町在住の佐々木一柁いっしゅうくんは「抽選でねこのぬいぐるみが当たってうれしかった」と喜びをあらわにし、漆館直弥くんは「人形劇すごく楽しかったから、また見たい」と感想を話しました。



広報さんのへ第746号

編集・発行

三戸町役場まちづくり推進課

青森県三戸郡三戸町大字在府小路町43番地

TEL 0179 (20) 1111

1111

FAX 0179 (20) 1102

SNSで町からの情報をお届けします。
フォローや友だち追加、お願いします。



X (旧 Twitter)



LINE



Instagram